



2025 年 9 月 発行

社会福祉法人 ありのまま舎

(障害者自立企画)

発行責任者 白 江 浩

編 集 佐 藤 環

〒982-8544

仙台市太白区西多賀 4 丁目 19-1

TEL 022-(243) 1300

<http://www.arinomama.or.jp/>

E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

1976 年 2 月 25 日 第 3 種郵便物認可 (毎週 4 回月・火・木・金曜日発行)
 2025 年 9 月 12 日 発行 SSKO 通巻 11994 号



地域の夏祭りに参加し賑わいました！

『打ち上げ花火で鎮魂の思い・7月26日(土)』

難病ホスピスケア太白ありのまま舎が所属する茂庭台地区の夏祭りが開催されました。ありのまま舎では 31 回目となる花火打ち上げを今年も行いました。当日は快晴となり好条件で打ち上げることができ、太白ありのまま舎の入居者を含めた観客の方々からは歓声や拍手を頂きました。

打ち上げ花火は約 40 年以上前、当時西多賀病院に入院していた筋ジストロフィーの仲間たちが、真夏の七ヶ浜のキャンプで打ち上げた花火が由来しています。当時患者たちのために、夜に花火を打ち上げて下さった芳賀火工様。それから時を経て、茂庭台で花火の打ち上げを続けています。

芳賀火工様には今でも打ち上げのお願いをしており、また安全面では消防署の方々に事前の打ち合わせや当日の警備等でご指導をいただきました。さらに打ち上げ場所周辺にお住まい

の方々には毎年ご理解をいただき、花火のご協賛をいただいた方など、地域の方々に大変ご支援とご協力をいただきました。ありがとうございます。

(次ページにつづく)



太白ありのまま舎から見た花火

【花火の協賛を頂いた皆様】

えまた歯科医院様

福来苑様

ヤマザワ茂庭店様

ないとうクリニック様

ありがとうございます。

薫る風

地球上の地震エネルギーの 10%。火山の 7%。国土の半分以上が雪害の対象区域。そして、豪雨は全国的に発生している。そんな国土の上に日本がある。災害大国と言いつつ方々をさけることがあるが、様々な災害対策の中で暮らすことが日本の文化と言える。言うまでもなく何よりも生命をどう守るかが第一だが、財産や生活全て、そして生きる気力も失う人が毎年出ている。激甚災害も毎年数件指定されている。備えることに限界がある中、どうすれば命と生きる気力を守るか。とにかく思いつくこと、やれることをやるしかない。何十回と行ってきた避難訓練の経験、様々な研修等もそれなりに積み重ねてきて、いざという時に備えてきた。それでも、不安は尽きない。今月の初めにグループホームで停電が発生した。近隣の住宅は電気がついていない。ちょうど宿直の日で、ホームには入居者以外には私ひとりだった。突然消えた電気の原因を探りながら、応援を依頼し、電気事業者、最終的には東北電力マターとなり(当舎への引き込みの電柱に問題あり)夜中に復旧した。この暑さの中、エアコンもとまり、入居者にはがまんをお願いする他なかった。自然災害ではないが、緊急事態といえるだろう。もし人工呼吸器の方がいれば、焦り方は違っていた。太白ありのまま舎や亘理ありのまま舎のような備えはないが、応援体制はできていた。しかし広域で長期に渡れば、多くの方の生命の危機につながる。いわゆる災害関連死にもつながる。グループホームにおける医療的ケアの体制と災害への備えは国でも認識されており、大きな課題として検討もされている。しかし、それが広く体制構築されるには、まだまだ時間が必要だろう。迫る大災害にどう対処するのか、改めて考えるきっかけになった。

(白江浩)

茂庭台夏祭りでは市民センター前広場を会場に様々なステージ発表や出店が多く出店し夏祭りが開催されました。

ありのまま舎では、ありのままショップの出店販売を行い、文房具類が子供たちに大人気で「去年も買ったよ」と元気に声を掛けてくれました。ステージではバンド演奏やすずめ踊り、吹奏楽、盆踊りなど地域の方々と共に楽しく参加することができました。20 時に、打ち上げ花火が行われ、最後に皆さんと盆踊りが行われフィナーレとなりました。

毎年茂庭台地区夏祭りに地域の一人として参加できること、ご協賛を頂きながら思いを込めた花火を打ち上げられること、改めてご協力いただいた全ての皆様に心より感謝申し上げます。来年もこの思いを胸に、茂庭台夏祭りを通じて地域の絆を深めていきたいと思えます。(森祥一)



茂庭台夏祭り (7 月 26 日)

大谷地親和会夏祭り

8 月 23 日(土)は自立ホームが所属する大谷地親和会の夏祭りに文具等の販売で参加しました。昨年は途中雷雨となり一時中断がありましたが、今年は天候に恵まれ多くの方が参加しました。ホームから 2 名の入居者の方がお手伝いくださいました。子どもたちが楽しめるようにとおまけの景品を準備され、より楽しさが増していました。

(佐藤環)



大谷地親和会夏祭り (8 月 23 日) 子どもたちのソーラン節は迫力満点！



仙台エリア

【仙台市基幹相談支援センター】

基幹相談支援センターでは、仙台市内の相談員の技術・支援力向上や相談員同士の関係性づくり等を目的として、年に 5 回合同事例検討会を開催しております。

今月は、8 月 27 日(水)に第 2 回合同事例検討会を開催いたしました。第 1 回目の反省を生かし、グループワークの時間を増やしたり、スーパーバイザーからの講評やモニタリング発表の構成を変更したりと、参加者のみなさまが、知識や情報などより多くのものを吸収し、満足していただけた事例検討会になるよう準備を行いました。

参加申し込み書の回収時点から、第 1 回目と比べ申込人数が増えており、仙台市内で長く相談支援に従事されている方から最近相談支援を始めた方まで幅広い経験層の相談員さん達が参加を希望してください、手応えが良かったです。

当日は、ハブニングが発生しプログラム内容の順番が前後しつつも、参加者のみなさまのご協力もあり、無事予定時刻通りに終えることができました。

今後もより満足度の高い研修会や事例検討会を開催できるよう、努めていきたいと思えます。

(木村ほのか)

【サポートケア仙台ありのま舎(難病・障害者相談支援センター)】

令和 7 年 5 月 29 日(木)太白区自立支援協議会実務者ネットワーク会議「なごやかネット」に参加しています。参加したのが、行政、相談支援、放課後等デイサービス、障害者支援施設、小規模地域活動支援センター、訪問看護、就労移行支援、就労継続支援 B 型等の障害福祉の事業所だけでなく、高齢者福祉の分野である地域包括支援センター 14 事業所が参加していました。各事業所での困りごとの相談や情報共有が中心でした。

行政や障害福祉、高齢者福祉、更にその中でも事業体によって重視するところが異なることから、ご本人の捉え方が様々なことを改めて感じました。良い意味でも悪い意味でも、自分自身の知識や経験、相談員としての立場を基に支援をさせて頂くことになり、「支援者の独りよがりになつていないか」と自問自答することがあります。この会で、様々な視点、支援方法、思い等を教えて頂く良い機会となりました。また、ご本人が日常生活を送る上で、様々な事業所があり、お互いに連携していくことで当事者の方を支えることができるという点、業務にしっかりと活かしていかなければと改めて感じました。

(相澤誠一)

レンタカー・カーリースのご用命は

トヨタレンタリース宮城

本社 / 仙台市宮城野区宮千代 2-13-3 電話 022-283-0100

本	司	店 022-224-0100	卸	司	店 022-237-0100	仙	台	空	港	店 0223-22-0100	新	幹	線	く	り	こ	ま	高	原	駅	前	店 0228-21-2100	
交	通	局	前	店 022-221-0100	高	砂	店 022-254-0100	名	取	駅	前	店 022-381-0100	石	巻	駅	前	店 0225-21-7007						
仙	台	駅	西	口	店 022-213-0100	鹿	野	2	8	6	店 022-246-0100	新	幹	線	白	石	蔵	王	駅	店 0224-22-0252	石	巻	店 0225-22-0100
仙	台	駅	東	口	店 022-293-0100	泉	中	央	駅	前	店 022-372-0100	新	幹	線	古	川	駅	前	店 0229-23-0100	気	仙	沼	店 0226-22-0100



新型ヴォクシー(車いす仕様・電動スロープ車)
その他ウェルキャブもラインナップしております。

ありのまま舎創設者 山田富也さんを想う
逝去から十五年・命日を迎えて

【詩想】

白い部屋

白い部屋の中に
生と死がある
昔共にいた友たち

声が聞こえる

空を見つめると

顔が浮かぶ

消えては現れる

息遣いを感じる

そこに

生き続けている

その

生を感じる

(2010年9月号)



一日の疲れをとるために眠りに就く。今日一日あったことを思いながら……。明日を生きるための睡眠も、進行性の筋ジス患者にとっては、見覚めた時に同じ様にこの手足が動いてくれるだろうかという、境目にもなる悲しい時間なのです。

筋ジストロフィーとは、全身の筋肉が次第に力を失い、立つことも自分で寝返りさえも打てなくなる病です。人工呼吸器などが使えるようになり、昔よりは、長生きできるようになりましたが、未だに治療法がない難病です。

(富也)

【聖心源流】

目覚めると、真っ白な壁に囲まれていた。一週間ほどの時間が過ぎていたことを知りさらに驚く。

七月末の夕方、突然、脈拍が一四〇を超えて息苦しさが襲ってきた。と、同時にそのあとの記憶はなく、気がついたら病院の一室だった。

春からの不調を乗り切れずにいたところに、この猛暑。すっかり体力を奪われてしまったらしい。思うように食べられない日が続く、自分でもこれはまずいなと思って始めていた頃のことだった。

問いかけには答えていたらしいが、自分の中では全く記憶がなく、時間の流れを追うことも難しい。

思えば、十年ぶりの入院だ。病棟の位置など聞くと、中学校を卒業後、兄たちと過ごした懐かしい病院の中にある公園が見下ろせる病棟に入院したらしい。

そこは、当時流行していたグループサウンズをまねて兄や仲間たちとバンドを結成し、ボーカルに名乗り出た私が一日で首になったという、懐かしい公園だ。

兄たちや、病友たちの顔が次々に浮かんでくる。過ごした懐かしい青春の時間が蘇る。兄たち、友たちとの時間は、私の人生の大事な時間だ。若く、やんちゃな時代でもあり、随分無茶もしたもののだが、その経験が今の私を生かしているのだと思う。少し大げさな言い方をすれば、この場所こそが原点なのだ。沢山の人と出会い、死に別れ、その命のむなしさを心底感じたのがここだ。

自分の人生を大事に生きられる社会にしたいという思いに、また新たに触れ合う思いだ。

(2010年9月/富也)

会報「自立」に毎月されてきた【詩想】「聖心源流」。たくさんの方に読み続けられてきました。

2010年9月21日、亡くなる前まで書き続け、同年9月号に最後の「詩想」と「聖心源流」が掲載されました。

「聖心源流」は山田富也さんが命名し、キリスト教精神（「精神」を「聖心」に置き換えて）を基本（源）にし、その精神（聖心）に添った流れを作って行きたい、という意味です。

「事前」も「事後」も。
自然災害に強い社会を、
これまで以上に支え続けたい。

次の一歩の力になる。
東京海上グループ



TOKIO MARINE
NICHIDO

東京海上日動

茂庭台エリア

【チャイルドケア仙台ありのま舎保育園】

まだまだ暑さは残っていますが、じつとりと暑い夏は終わり秋を迎えようとしています。今年は梅雨の時期から長い期間、暑さが続いていましたね。子どもたちはエアコンや暑さによる疲れから体調を崩しやすかったように思います。熱中症も心配なため、様子を見ながらこまめに水分補給にも努めました。その日の気分や体調によって、嫌がることもありました。水や麦茶、イオン飲料、牛乳等を少しでも飲むようにしました。

現代、味がついていない飲み物で、意識して水分補給をするということが苦手な子どもたちが増えていきます。暑さは落ち着いてきても今度は乾燥の季節となります。まだまだ、こまめな水分補給は必要です。飲み物を入れるコップや水筒、マグなどをお気に入りのものにする等にして、毎日、少しずつ水や麦茶を飲む練習をすると良いですね。その時は大人も一緒に。大人が飲んでいる様子を見て、安心して飲むということが身についていきます。入浴後など、

楽しみながら練習してみてくださいね。
(春日麻里)



今年も水遊び楽しかったね！

名取エリア

【サポートケア名取ありのま舎(難病・障害者相談支援センター)】

今月は、名取ありのま舎に実習に来ている東北福祉大学3年生の実習生、Y・Tさんにインタビューをしました。

① 平日の一日の流れ

学校がある時は、午前9時の電車に乗り、福祉大学を目指します。授業は2時限目からが多いです。授業が終わったらアルバイト先へ移動し、深夜0時近くまで働いています。おでん料理が美味しい所です。

② 好きなことや推しグッズ

お笑いの狩野英孝さんが好きで、ユーチューブでよく観ています。様々な話題を笑いに変えてしまう柔軟な考えやトークに魅力を感じます。宮城県出身なので、いつか栗原のご実家の神社へ行ってみたいです。

③ これからの目標について

まずは、大学を卒業して就職し、自立して両親を安心させたいです。国家試験にも合格して、目指している資格も取得したいです。給料をもらったら、両親に沖縄旅行をプレゼントしたいです。

ご両親思いのとても優しい実習生さんでした。実習で学んだ事を活かして夢に向かって頑張ってください。

(平賀愛)

亘理エリア

【難病ホスピスケア亘理ありのま舎(ケア)】

7月下旬から8月上旬にかけて、入居者の方、スタッフが続けてコロナ感染がありました。

最初にコロナに感染された方が7月24日(木)で、外出をされて数日後に発熱があり、抗原検査を行ったところ、陽性となりました。防護具の着用、ケアに入るスタッフの限定等の標準予防策を行い対応を行いました。最初の方が回復されて居室から出ることが出来るようになった翌日の、7月31日(木)にお二人目のコロナ陽性の方が出ました。その方は外出等はされていなかったもので、内部で感染されています。その前後でスタッフ2名もコロナ陽性となりました。その後、8月6日(水)に前日に病院受診された方がコロナ陽性となりました。お盆前までコロナ感染の方が続き、外部利用の方には事情をご説明して、利用を中止される方もおりました。

夏場の暑い時期で、換気は行っていました。締め切つてエアコンを使用する時間が長く、感染が続くことになりました。何とかクラスターにはなりませんでしたが、

一年を通しての感染予防の必要性を再認識することとなりました。今後もゾーニングの研修等の対策を継続して行っています。

(金子仁)

【ありのま舎ホームページ】

当舎ホームページのQRコードです。各事業所の施設紹介を掲載しています。出版物の紹介、ご支援いただきたい内容なども掲載しています。ぜひご活用ください



【サポートケア巨理基幹相談支援センター】

当センターでは、障害のある方への地域移行・地域定着支援の啓発活動の一環で、定期的に病院関係者と行政機関、地域の相談支援事業所等と一緒に支援者向け勉強会に参加しています。今回は活動の一つである精神科病棟内の普及啓発活動「地域で暮らそう！座談会」についてお話しします。

座談会の目的としては、長期入院の方が病院関係者以外の他者との関わる機会を持ち、地域の支援者が長期入院の方に地域の情報やピアスタッフ、当事者の体験談等を届けながら退院後の生活について考える機会を持つってもらう内容となっています。また長期入院の方だけでなく、この活動は病院関係者と協働で行うため地域の支援者だけでなく、病院関係者の双方が支援の必要性を理解する活動でもあると思います。病院関係者の方からは退院に消極的だった方が座談会に参加してくれたことが嬉しかった等という意見もありました。

今後とも活動に参加しながら退院支援やその人らしい生き方を応援していけるよう学んでいきたいと思っています。

(蒲生豊二)

【サポートケア県南ありのまま舎（難病・障害者相談支援センター）】

社会資源を活用して相談利用者の生活ニーズと希望の実現に向き合っていくための日々の相談支援には、ご提供いただく事業所の皆さんの取り組みが必要不可欠です。巨理町内ではせっかく開設された事業所が残念ながら閉所となったところがありました。住まいの場として必要とされているグループホームが1か所開所し、早速見学させていただきながら情報共有をさせていただきました。更に利用を希望している2人の相談利用者に見学をしていただき、1人は体験利用にも至りました。

多くの方がそうかと思いますが、生まれ育った我が町への愛着は強いものがあるうと思えます。そのことは当事業所の利用者の方々からも強く感じる人が多いです。でも、実際には地域の中で利用できる場の数の問題でやむなく他の地域に求めたりする状況もあります。

時々の場面で、開設を検討しておられる事業所から地域の社会資源のニーズなどのご質問をいただくことがあります。基本相談支援を担う事業所としてこれからも丁寧に説明していくことで、障害のある方の住みよい街づくりの役割を担ってきたいと思っています。(齋藤栄樹)

「ご支援頂きありがとうございます」
「ございました（敬称略）」

【書損じはがき等】

25 7/26 ~ 8/29

【バザー提供】

25 7/31 ~ 8/30

(鈴木一彦)

【バザー開催日のご案内】

《2025年10月》

2日（木）ヨークマルシェ大和町店

7日（火）コークベニマル鉤取店

9日（木）鶴ヶ谷生鮮いちば

14日（火）ヨークベニマル南吉成店

21日（火）ヤマザワ茂庭店

23日（木）鶴ヶ谷生鮮いちば

25日（土）ありのままショップセール

28日（火）袋原（向日葵ライフ

サポートセンター）

「ご協力ありがとうございます」
「ございました（敬称略）」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台海高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会、仙台東教会と仙台東一番丁教会の皆様にご協力をお願いしました。また、自立ホーム入居者有志の皆様は、体調をみながらお手伝いいただいています。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただいています。ショップセールの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

茂庭台ボランティアグループの皆様や、宮城県車いすダンス協会様などに協力いただいている活動については、基本的な感染対策と熱中症にも気を付けながら、活動の制限緩和をしていきたいと考えております。

ありのまま舎を支えてくださる皆様に感謝申し上げます。今後とも全力で取り組んでまいりますので、変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

(遠藤寿子)

ありのまま舎後援会（敬称略）

25 7/25 ~ 8/30

【自販機販売設置支援】

◆サントリービバレッジ
7月分の売上の一部をご寄付頂きました。

こくみん共済coop

宮城推進本部 2,016円

ありのまま舎（自立ホーム・太白ありのまま舎・サポートケア

県南・巨理ありのまま舎）

7,778円

◆株式会社ミチノク

25 4 ~ 6月分売上

日下亜弥 759円

巨理ありのまま舎

6,682円



社会福祉法人ありのまま舎後援会 令和 6 年度決算報告



ありのまま舎への寄付は 1, 9 6 4, 3 0 4 円 (前年度より約 1 0 万円減) となりました。

令和 6 年度 会計決算書

令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日
社会福祉法人ありのまま舎後援会

項目		令和 6 年度 予算 (A)	令和 6 年度 決算 (B)	増 減 (B) - (A)	摘 要
収入の部	前受け金	153, 000	153, 000	0	令和5年度に納入(令和6年度分) 【法人】令和6年度 1社 1口 20,000円 【個人】令和6年度 13名 13口 130,000円 【賛助】令和6年度 1名 0.3口 3,000円
	会費	2, 137, 000	1, 737, 000	-400, 000	【法人】 17社 35口 700,000円 【個人】 80名 95.5口 955,000円 【賛助】 22名 8.2口 82,000円
	コンサート	10, 000	0	-10, 000	新型コロナウイルス感染症のため企画なし
	ベンダー自動販売機	300, 000	140, 736	-159, 264	サントリー自販機6台 112,888円 ミチノク自販機4台 27,848円
	預金利子	20	687	667	預金利子
	次期繰越金 (R7年度分)		130, 000	130, 000	【法人】令和7年度 1社 1口 20,000円 【個人】令和7年度 11名 11口 110,000円
	合 計	2, 600, 020	2, 161, 423	-438, 597	
支出の部	会議費	10, 000	0	-10, 000	
	通信費	50, 000	42, 515	-7, 485	送料・切手代等
	手数料	20, 000	11, 414	-8, 586	自販機手数料3,960円 郵便振替手数料7,454円
	事務費	10, 000	13, 190	3, 190	個人情報保護シート・受取人払い封筒作成
	コンサート経費	100, 000	0	-100, 000	
	次期繰越金 (R7年度分)		130, 000	130, 000	【法人】令和7年度 1名 2口 20,000円 【個人】令和7年度 11名 11口 110,000円
	ありのまま舎への寄付	2, 410, 020	1, 964, 304	-445, 716	
	合 計	2, 600, 020	2, 161, 423	-438, 597	

【令和7年3月31日現在】法人20社・個人107名・賛助25名

【未収金】法人2法人(40,000円)・個人14名(140,000円)・賛助2名

【会員の皆様からのご意見・メッセージ】

- ・会費負担の少ない賛助会員の拡大が良いと思います。また少額寄附でも広くお願いする方向が良いと思います。
- ・後援会ですので、やはり応援する人と法人は別の方がよいと思いますが、なかなか無理なのでしょうか。
- ・いろいろむずかしい状況もあるかと思いますが、利用者の皆様への支援が途切れることのないようにできればと思います。直接支援はできませんが、皆様方のご活躍を祈っております。
- ・令和7年度事業計画、予算が承認され、それらが実現できますよう祈ります。
- ・多くの方に「自立」を読んでほしいです。一人一人がありのままに生きていける世でありますように願っています。

<後援会員募集中です！> 貴重なご意見、応援のメッセージありがとうございました。